

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>ただいまから、平成28年度第2回入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を開会いたします。</p>
田代参事	<p>それでは、大杉会長よりごあいさつをいただきたいと思います。</p> <p>大杉会長お願いいたします。</p>
大杉会長	<p>(挨拶)</p>
田代参事	<p>ありがとうございました。</p> <p>議長につきましては、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第1項の規定で、会長が会議の議長となる旨が定められておりますので、大杉会長に議長として以後の進行をお願いいたします。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方のご協力をいただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>現在の出席委員は、9人です。よって、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第2項の規定により、会議は成立しております。</p> <p>なお、滝沢委員、高野委員から欠席の届出をいただいております。</p> <p>また、会議の傍聴については、ホームページで周知いたしましたが、お申し込みはありませんでした。</p>

発 言 者	発 言 内 容
下村主幹	<p>本日の議題は、4点ございます。1点目は「平成29年度地域包括支援センター運営方針（案）について」、2点目が「地域密着型サービス関連条例について」、3点目が「地域密着型サービス事業者の指定について」、4点目が「その他」となります。</p> <p>はじめに、「（1）平成29年度地域包括支援センター運営方針（案）」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>（資料 No. 1-1 平成 29 年度入間市地域包括支援センター運営方針（案） 資料 No. 1-2 日常生活圏域別人口等の推移 資料 No. 1-3 平成 29 年度入間市行政機構図 資料 No. 1-4 入間市認知症初期集中支援チーム概要図（案） 資料 No. 1-5 認知症（オレンジ）カフェ一覧表 を使い説明）</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の事務局の説明で、平成29年度の地域包括支援センター運営方針と前年度との変更点が良く分かったと思います。認知症関連など、何かと変わっているところもあるようです。何かご質問・感想等ありますでしょうか。鈴木委員は認知症カフェの取組みに関与していますが、いかがですか？</p>
鈴木委員	<p>認知症カフェに関しては、市や地域包括支援センターと一緒に取り組んでいます。認知症の方やその家族の参加に関しては、関係者が人集めをしている状態で、地域の人が自発的に気軽に通うまでにはまだ時間がかかると思います。世間にもっと認知症の理解が進むと良いと思います。</p>
議長(大杉会長)	<p>川名委員をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>質問があります。西武地区で認知症カフェを開いている「リトリート」というお店は私の友人が経営しており、私も立ち上げからかかわっています。地域包括支援センターはずっと認知症カフェをフォローしてくださっていますが、高齢者福祉課は、見学に来たり経済的支援をしたりなど、具体的に支援はしておりますでしょうか？</p>
議長(大杉会長)	<p>事務局お願いします。</p>
下村主幹	<p>市といたしましては、認知症初期集中支援チームの概要図にも記載されている「認知症地域支援推進員」を、地域包括支援センターと市役所に配置しております。この支援推進員を中心に、地域をどう良くしていくか、どういった認知症施策が有効であるか、一緒に話し合いを進めています。地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が表に立ちますが、市も事前の話し合いに参加し、連絡を取り合っているというのが現状です。月に1回会議を行っており、明日第7回の話し合いがあります。各地区の現状を報告し、問題点を皆で協議し解決する場となっています。</p>
議長(大杉会長)	<p>川名委員いかがですか？</p>
川名委員	<p>市は地域包括支援センターと協働して取り組んでいるということですね。地域の現場をいくつも見ているので、現場と市との温度差や孤立感を感じることがあります。最初だけ市や地域包括支援センターが手厚く支援し、後に手を引いてしまうのも現場は混乱するのですが。</p>
議長(大杉会長)	<p>事務局いかがですか？</p>

発 言 者	発 言 内 容
下村主幹	<p>任せっきりにならないよう、一緒に考えながらやっていきたいと思えます。認知症カフェの立ち上げの経済的な支援といたしましては、「消耗品」等の予算計上をして支援をしています。</p>
議長(大杉会長)	<p>鈴木委員お願いします。</p>
鈴木委員	<p>認知症カフェに関しては、地域包括支援センターが中心となり立ち上げていますが、市は将来、地域包括支援センターから民間へ移行したいという考えですか？</p>
議長(大杉会長)	<p>事務局お願いします。</p>
下村主幹	<p>いろいろな形の運営の仕方があると思います。力のあるボランティアさんが主体で運営されている例も、全国的にもたくさんあると思います。入間市も将来的にそういった地域になることが望ましいとは思いますが、立ち上げたけど続かなかったという事態は避けなければならないので、継続的な支援方法を検討していきたいと思えます。</p>
議長(大杉会長)	<p>継続的にお金のかかることなので、ボランティアだけに任せていいのかという問題もあろうかと思えます。難しい問題ですが、地域を良くしていくための活動が進んでいくことは大いに期待したいところではあります。どなたかほかにご意見ございますか？</p>
松本委員	<p>来年度の組織編成を説明いただきましたが、地域包括支援センターは、どこの課に属することになりますか？</p>
議長(大杉会長)	<p>田代参事お願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>(平成29年度入間市行政機構図を使い説明)</p> <p>地域包括支援センターの運営費・委託費については、介護保険の地域支援事業で賄われており、地域包括支援センターは介護保険課に属することになります。高齢者支援課は、現在の高齢者支援担当の事業である老人クラブ・老人憩いの家・グランドゴルフ場・ゲートボール場の管理運営業務、特別養護老人ホーム・小規模多機能事業所・地域密着型サービス事業所の公募をしたり審議会を運営したりする業務を行うことになっています。役所内の事務室の配置は大きくは変わりませんので、基本的に今までと同じように対応いただければと思います。</p> <p>この会議は介護保険課が主担当になります。高齢者福祉審議会は高齢者支援課が担当することになっています。</p>
鈴木委員	<p>高齢者支援課と介護保険課で部がわかれるので、意思の疎通が悪くなる懸念がある。市民が戸惑わないようにしてほしい。</p>
田代参事	<p>当然のご心配だと思います。しかし、福祉行政内での横の連携は進んでいて、意思疎通はできている方だと思います。課題として捉えていますので、市民に迷惑をかけないように肝に銘じたいと思います。</p>
議長(大杉会長)	<p>資料 No1-2 の人口等の推移については、非常に良く分析されていると思います。入間市でも後期高齢者の割合が増えていますか？</p>
田代参事	<p>入間市を含めた埼玉県自体の高齢化が進んでいます。後期高齢者の占める割合が進んでいることは、埼玉県知事も大きな課題に挙げています。入間市は、市になった50年前は人口約4万人でした。現在は約15万人です。首都圏への通勤圏として人口流入が続いた時代に移住してきた方々の高齢化が進んでいます。もうすぐ65歳以上の人数が4万人</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>に達します。後期高齢者も1万6千人を超えています。この状況はもう少し続いて、ピークを迎えたら減少に転じると予想されています。県や国の動向も注視して、総合的に今後の対策を講じていきたいと思えます。</p> <p>この人口推移のデータは大きな意味を与えてくれるので、こういった会議では毎回お示しいただきたいと思えます。ほかにご質問・ご意見は無いようなので、「平成29年度入間市地域包括支援センター運営方針(案)」については、委員で検討して了承したということによろしいでしょうか？</p>
全委員	異議なし。
議長(大杉会長)	ありがとうございます。それでは、次に「(2) 地域密着型サービス関係条例について」事務局から説明をお願いします。
粕谷主幹	(資料 No2 を使い説明)
議長(大杉会長)	ありがとうございます。議会で可決した内容について報告いただきました。それでは、次に「(3) 地域密着型サービス事業所の指定について」事務局から説明をお願いします。
友野副主幹	(資料 No3-1 No3-2 を使い説明 ホスピタリティハウス青い鳥については小林委員が補足説明)
議長(大杉会長)	ありがとうございます。「デイサービスレジデンス扇台」と「ホスピタリティハウス青い鳥」を地域密着型サービス事業所として指定した

発 言 者	発 言 内 容
	<p>との報告がありました。「ホスピタリティハウス青い鳥」に関しては、小林病院の関連施設ということで小林委員からも補足説明をいただきました。この件に関してはご意見も無いようですので、この議題は終了といたします。</p> <p>だいたい意見の取りまとめは終わりましたが、その他にご意見はございますか。</p> <p>(手が挙がったので) 水上委員お願いします。</p>
水上委員	<p>確認ですが、「認知症カフェ」と「介護予防教室」は、今後も別々に実施していくという考えで良いでしょうか？</p>
議長(大杉会長)	<p>事務局お願いします。</p>
下村主幹	<p>別で実施していきます。</p>
水上委員	<p>認知症カフェは地域の方が開催し、毎日でも通えるのが理想です。あくまでも個人的な考えですが、そのような形になってほしいという希望があります。</p>
鈴木委員	<p>西武地区の認知症カフェ「リトリート」開設にあたり、事前に「認知症サポーター養成講座」を事前に地域で開催しました。その参加者に認知症カフェ支援を呼びかけたところ、全員が支援を申し出ました。現在は、30名のスタッフで午前・午後など振り分けして運営しています。スタッフは皆地域の人です。現在は、各地域包括支援センターが中心で各地で立ち上げを行っていますが、認知症カフェの必要性が高まり他の場所にも開設していくとなると、地域包括支援センターがすべてを主導していくことは業務量的にも不可能と思われます。地域で取り組めるな</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>らば、地域の人で開設・運営していくと、この活動はもっと広まってい くと思います。</p> <p>提案ですが、まず地域の皆様に理解をしてもらうことが重要だと思 います。健康福祉センターまつりで「認知症」について理解を深めるよう な取り組みを市で行ってはいかがですか？</p>
鈴木委員	<p>自身の所属する「つながろう入間」というグループで、12月4日に 開催する生涯学習フェスティバルで、「高齢化でまちづくり」と題した ワークショップと「模擬カフェ」を行う予定です。PR する良い機会と 考えています。</p>
水上委員	<p>認知症カフェの立ち上げに関しては、お金のかかるものだと思います ので、ごくわずかでも継続的にお金や場所の提供をしていただければ、 手を挙げてくれるグループもあると思います。</p>
議長(大杉会長)	<p>認知症カフェの立ち上げも大切だが、認知症自体をよく知らない人が 多いと思うので、まずは知ってもらうことが大切だと思います。認知症 の人が増えてくるとのデータもありますが、認知症を恥ずかしいものと 捉えて隠してしまう人が多いようです。皆で意識を変えていかねばと思 います。PR も含め、行政も委員の皆様のそれぞれのグループでも話を していただき、認知症や認知症カフェについて理解を深めていただきた いと思います。</p> <p>それでは議題はすべて終了ということになります。(4) その他は事 務局から何かありますでしょうか。</p>
下村主幹	<p>次回の会議について案内させていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>次回、平成28年度第3回は3月中旬を予定しております。</p> <p>それでは、本日の全ての議題を終わりましたので、議長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
田代参事	<p>大杉会長、ありがとうございました。</p> <p>最後に閉会のご挨拶を臼井副会長、お願いいたします。</p>
臼井副会長	<p>以上をもちまして、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を閉会とさせていただきます。どうもご苦労さまでした。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

年 月 日

議 長 の 署 名 _____

